

設問

49分

[問い1] 今た、たら どのな 質問が できるか

- 1) 海外赴任について たんなさんから、いっどうようにお話しがありましたか?
- 2) 「安定していて嬉しい」とはどういうことでしょうか?
- 3) 普段、上司の方とはどのようなコミュニケーションを取っていますか?
- 4) 「同じ場所で同じ業務をやることに疲れた」とはどういうことでしょうか?
- 5) 海外赴任の話はいつまでに決めなければならぬのでしょうか?
- 6) 「仕事も含めてキャリアも大切にしたい」とはどういうことでしょうか?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

良かった点
事例IのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者が予測していたか、夫の海外赴任に「どうしようか」と悩む気持ちに寄り添い傾聴したことで上司との関係性の話など本音を話して良かった点。

悪かった点
事例IIのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者への好意的関心から、信頼関係が構築できず前に人間関係で会社を辞めた理由を伺った結果、信頼関係の構築に時間がかかった点。

[問い3] CLの主旨

冒頭では「最近、夫が海外赴任することになり、今後の身の振り方も含めて相談したい」とのことから、お話しを伺っていると、「まさか海外赴任することになるとは」との発言があり、夫の外交官の仕事がご自身の仕事に対しても理解不足に見受けられる。また、人間関係で前職を退職した経験があり、「上司とぶつかったことがある」等の発言から、上司等とのコミュニケーション不足もあるという、理味点の主旨が汲み取れる。

[問い4] 今後の展開 (今後どう進めようか)

相談者の夫の海外赴任について「どうしようか」と悩む気持ちを傾聴し、信頼関係を構築する。そうして(1)夫の外交官の仕事について改めてどのような仕事かと思いを尋ねて頂く。こちらでもjobtalk等での情報提供を行い、仕事に対する理解を深めて頂く。また、ご自身の今後の仕事についてキャリアの相談も行う。大切にしたいキャリアについて内容を促す。可能であれば人間関係で辞めた前職の話も伺い、今後のコミュニケーションあり方について考えて頂く。最終的には相談者が夫の海外赴任の意思決定を支援する。